

2026年5月17日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書28:19~20)

復活節第7主日

永眠者記念礼拝

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~12:00

<神の招き>

前奏 ① 神我らと共にいませずば *ブクステフーデ*
② 私は主に望みをおきます *ヴァルター*

招きの詞 詩編51編9~14節

交読詩編 102:13~19

讃美歌 16

<神の言葉>

聖書 エゼキエル書37:11~13
(旧約 聖書協会共同訳 1338頁)
ヨハネによる福音書11:38~44
(新約 聖書協会共同訳 186頁)

祈禱 美歌 385
説教 「神の栄光を見る」

熊江秀一牧師

祈黙 讃美歌 575
<神への応答>

使徒信条

献金の祈り

宣教報告②

頌栄 24

派遣と祝福

後奏

① 人よ、幸いなる生を願わば *ブクステフーデ*
② イエス、わが生命の生命よ *ツァッハウ*

宣教報告①

夕礼拝 18:00~19:00

<神の招き>

前奏 神のみ愛する人は *バッハ*
招きの詞 詩編51編9~14節

交読詩編 102:13~19

讃美歌 120

<神の言葉>

聖書 サムエル記上1:9~20
(旧約 聖書協会共同訳 412頁)
ルカによる福音書7:36~50
(新約 聖書協会共同訳 115頁)

祈禱 美歌 382
説教 「安心して行きなさい」

佐藤潤伝道師

祈黙 讃美歌 481
<神への応答>

使徒信条

献金の祈り

宣教報告

頌栄 26

派遣と祝福

後奏

神のみ愛する人は *バッハ/レベル*

次週の礼拝(5月24日) ペンテコステ礼拝 聖餐式

① 9:00、② 10:30

説教「霊による命」

熊江秀一牧師

詩編23:1~6、

ローマの信徒への手紙8:1~11

交読詩編122:1~9

讃美歌12、346、343、81、24

☒ 18:00

説教「揺らぐことのない平安」

佐藤潤伝道師

イザヤ書42:5~9、

ヨハネによる福音書14:25~31

交読詩編122:1~9

讃美歌348、196、463、81、26

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 天にある兄弟を覚えて
4. 聖霊降臨日(ペンテコステ)礼拝の為に
5. パイプオルガン演奏会の為に
6. 日本基督教団の宣教の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
8. 病気の兄弟の為に

*関東教区お祈りカレンダー 新発田教会 東中通教会 新潟教会

この手紙の第二部に入り、神の言葉である主イエスの救いとして大祭司イエスの姿が語られる。大祭司はイスラエルの民にとって特別な存在であった。その働きによって自分の罪の贖いを確信し、その執り成しによって神の民として歩むことができた。著者である説教者は、主イエスが大祭司であると宣言する。しかも地上の大祭司に勝る偉大な、永遠の大祭司と語り、この恵みを語って行く。

「私たちに、もろもろの天を通過して来られた偉大な大祭司、神の子イエスがおられる」。天は7つに分かれ、その上に神が住むと思われていた。7つの天を通過して天の聖所に進む主イエスと、いくつもの垂れ幕を通過して神殿の至聖所に入る大祭司の姿が重ね合わされる。しかも7つの天には、悪魔、悪霊がいて人間を誘惑すると思われていた。主イエスは悪魔や悪霊を打ち破って天に聖所に進まれた。

しかしその際、主イエスは、人が受ける試練をすべて経験された。そのようなお方が大祭司として天の聖所に進まれたのである。

「この大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではなく」。この「同情」と訳された言葉は「共に苦しむ」という意味を持つ。主イエスは私たちの罪の苦しみをご自分の苦しみとされた。それは大祭司が汚れなき動物の血によってイスラエルの罪を執り成すことにはるかに勝る。罪なき主イエスは罪を担い、ご自身の血によって私たちに執り成した。私たちに「この偉大な大祭司、神の子イエスがおられる（原語：持っている）。大祭司イエスは、私たちのものと思えるほどに私たちと共に歩まれた。大祭司イエスは今も私たちの罪の苦しみをご自分が担い、執り成している。だから「堂々と恵みの座に近づこう」「信仰の告白をしっかりと保とう」。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈祷当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。